



FESTIVAL DE CANNES
COMPÉTITION
SÉLECTION OFFICIELLE 2022

家族なのにな？
家族だから！



Frère et
Sœur
マリオン・コティヤール メルヴィル・プポー
私の大嫌いな弟へ
ブラザー&シスター
アルノー・デプレシャン監督最新作

監督:アルノー・デプレシャン(『そして僕は恋をする』『クリスマス・ストーリー』)

出演:マリオン・コティヤール(『エディット・ピアフ〜愛の讃歌〜』『アネット』)、メルヴィル・プポー(『わたしはロランス』『それでも私は生きていく』)、ゴルシフテ・ファラハニ(『パターソン』)、パトリック・ティムシット(『歌楽通り』)

原題:Frère et sœur | 英語題:Brother and Sister | フランス | 2022年 | 110分 | シネマスコープ | 5.1ch | 字幕:磯尚太郎 | 字幕監修:松岡葉子 | 配給:ムヴィオラ www.moviola.jp/brother_sister UNIFRANCE

最高に美しく、最高に仲の悪い姉と弟。それでも幸せな結末はある。

WHY NOT PRODUCTIONS PRÉSENTE

MARION COTILLARD MELVIL POUPAUD UN FILM DE ARNAUD DESPLECHIN
GOLSHIFTEH FARAHANI PATRICK TIMSIT BENJAMIN SIKSOU

avec JOËL CHIRÈNNE, MARK BASSSETTE DE MALICLANE, COSMINA STRATAN, FRANCIS LEPLAY, CLÉMENT HÉRIEUX LÉGER, ALEXANDRE PAVALOFF, NICOLETTE PICHERAL, SÉBASTIEN ARNAUD DESPLECHIN, JULIE PEYRI, DIRECTEURS DE LA PHOTOGRAPHIE: IRINA LUBITSCHANSKY, MONTAGE: LAURENCE BRANCO, RÉVISEUR GÉNÉRAL: CRÉGOIRE HETZEL, DIRECTION MUSICALE & GÉNÉRAL: TOMA BAQUENO, SCÉNARISTES: JOHANN DE LAIZE, RÉALISÉ: ALEXANDRE MAZAHIAN, COSTUME: NICOLAS CANTON, SYLVAIN MALBRANT, STÉPHANE THÉBAUT, ASSISTANTS À LA MISE EN SCÈNE: MARION DEHAENE, PRODUCTION CO-ÉCRITE: MARITINE CASSINELLI, MUSIQUE COMPOSÉE PAR WHY NOT PRODUCTIONS, ARTE FRANCE CINÉMA, AVEC LA PARTICIPATION DE CANAL +, ARTE FRANCE CINÉMA, AVEC LE SOUTIEN DU CENTRE NATIONAL DU CINÉMA ET DE L'IMAGE ANIMÉE, PICTANOV (Avec le soutien de LA RÉGION ÎLE-DE-FRANCE) ET EN PARTENARIAT AVEC LE CNC, EN ASSOCIATION AVEC CINÉCAP & CINÉMA 16, CINEVENTURE, 7, CINEVIVA 10, INDÉFILMS 10, L'APP 15, PALATINE ÉTOILE 10, DISTRIBUTION FRANCE LE PACTE, AVEC LES NETWORKS GLOBEALLAS





関係が悪く、疎遠になった「きょうだい」はいますか？
—はい84%

『婦人公論』2023年7月号
〔特集・きょうだいの壁〕読者アンケートより

『エディット・ピアフ〜愛の讃歌〜』のマリオン・コティヤールと『それでも私は生きていく』のメルヴィル・プポーで贈る最高の「きょうだい」ゲンカ。物語は予想もつかない「憎しみの出口」へ…

姉 アリスは有名な舞台女優。弟ルイは詩人。何が理由かは思い出せないけれど、もうずっと二人は互いを憎み合い、長らく顔も合わせていない。そんな二人が、両親の突然の事故によって、再会するのだが……。
〈家族なのに〉憎み合うなんて。そう思う人もいるだろうが、〈家族だから〉どうしても許せない、それもまた事実。誰もがどこかで思い当た

る感情を、ある時は優しく、ある時はサスペンスのように、またある時はコミカルに描いた芳醇な映画！そして物語は予想もつかない「憎しみの出口」へと向かう……。
パリの若者たちを描いた群像劇『そして僕は恋をする』以来、世界の映画ファンを魅了し続けてきたアルノー・デプレション監督の新たな集大成にして新境地。これぞ映画の魔法です！

Characters

登場人物たち



アベル・ヴュイヤール

父親。
事故にあった女性を助けようとして多重事故に巻き込まれる。



マリー＝ルイズ・ヴュイヤール

母親。
多重事故により意識不明に。



ホルクマン

アリスの夫。
演出家。ルイの旧友。



アリス

ヴュイヤール家の長女。
著名な舞台女優。



ルイ

ヴュイヤール家の長男。
詩人。長男ジャコブを亡くして以来、妻と山中に暮らす。



フォニア

ルイの妻。
教師。ユダヤ教徒。



フィデル

ヴュイヤール家の次男。



シモン

フィデルのパートナー。



ジョゼフ

アリスの長男。
ルイを慕っている。



ルチア

ルーマニア人。
アリスに憧れる。



ズヴィ

精神科医。
ルイの親友。ユダヤ教徒。



ジャコブ

6歳で亡くなったルイとフォニアの息子。



アルノー・デプレション監督レトロスペクティブ開催
www.institutfrancais.jp/tokyo/fr/agenda/cinema20230908/

9/8(金)より第5回映画批評月間 会場:東京日仏学院 エスバス・イマージュ
9/16(土)より第45回びあフィルムフェスティバル 会場:国立映画アーカイブ
そのほか全国で巡回予定

10.6 (金)ロードショー!

UPLINK 吉祥寺